

博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
申請大学名	慶應義塾大学	申請大学長名	清家 篤
申請類型	複合領域型（環境）	プログラム責任者名	真壁 利明
整理番号	B04	プログラムコーディネーター名	清木 康
プログラム名	グローバル環境システムリーダープログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムは、実世界の環境である“実環境空間”を監視・制御するハードウェア技術と、環境変化の原因・影響を計量する“情報環境空間”を連結・連動させる技術と社会ルールにより、グローバルな環境変化を発見、分析、対応するグローバル環境システムを創出できる人材育成を目的とし、環境、エネルギー、ICT、政策、国際関係、社会システムの各専門領域を統合し、全学的国際化体制の下でグローバル環境システムの実現を先導する未来社会創造型のリーダーの育成拠点を形成するものである。そのために、本プログラムは、国際的な高水準大学・研究機関、および、環境問題を抱える地域の国際的大学・研究機関との、遠隔と対面との融合による国際トレーニング科目として、国際フィールドワーク科目、および、実践的インターンシップ科目を設定し、研究教育指導を一貫して行う国際産・学・NPO連携研究指導体制を確立する。

2. プログラムの進捗状況

平成24年度のプログラム進捗状況として、国際産・学・NPO連携研究指導体制の運用制度の制定、国際トレーニング制度の実現のための連携大学・研究機関のネットワーク構築、グローバル環境システムリーダー育成のためのカリキュラムを作成した。具体的には、学位に関する学則を改定し、学位記内に「博士課程教育リーディングプログラム（グローバル環境システムリーダープログラム）」と付記し、本プログラムにより習得した専門性を学位記において明示した。また、二つの研究科によるGESLプログラムの修了を明示する「グローバル環境システムリーダー・サティフィケート」の取得要件を定めた。また、国際トレーニング制度として、国際的高水準の学修・研究指導の連携先機関、および、実際の環境問題を抱える地域の連携機関との連携・提携を推進し、合計16機関36研究グループを訪問して連携・提携交渉を進め、合計8機関とのMOU締結、および、合計17機関から、学生受け入れに関する合意を得た。グローバル環境システムリーダー育成のためのカリキュラム作成としては、本プログラムが目標とする4種類のリーダー像に対応する4科目（大規模環境システム構築法、グローバル環境政策特論、環境技術政策特論、環境情報システム構築法）を設計した。